

はやま もり 麓山の杜みどり通信

発行元 21世紀記念公園麓山の杜管理事務所
連絡先 〒963-8876 郡山市麓山1-16-17
TEL924-2194 FAX924-2195

緑が濃くなりましたね



エゴノキ（公園内で撮影）

平成25年度「みどり講習会」

開催 6月9日（日）10:30～11:30
場所 麓山の杜 『杜のエントランス』

テーマ 「記念樹の育て方初歩講座」

※ワンポイント 常緑樹の剪定と樹木の夏の管理について

記念樹交付「10時～15時」他は事務所へ

ガーデニング ワンポイント

初夏の花が梅雨空の下で咲き始めました

六月、水無月になり水田の早苗も日増しに緑を濃くし水面にその姿を映しています。花菖蒲、そして紫陽花と雨の下でその輝きを増す花、まるで金平糖を撒き散らした様な多彩の花がもうすぐ咲き始めます。皆さんの庭にも多く植栽されているエゴノキ、ヤマボウシ、ナツツバキなどの樹木も花を開き始めました。雨に濡れる初夏の花を愛でられるのも梅雨のある日本に住む私達の特権です。

【水やり】 春先の適期に植え替えた植物でも乾燥すれば水をあげなければなりません。植物は水なしでは生きられません。水やりは毎日少しずつあげるのではなく乾燥した時にどっぴりとあげます。これからは温度も上がりますので水不足で萎れないようにします。

【肥料】 ツツジ類などは開花後にはお礼肥として緩効性化成肥料をあげます。そうすることによって弱ることなく成長し来年の花芽もできます。芝生には刈込後に化成肥料（8-8-8など）をあげます。

【病害虫防除】 これからの時期は病害虫が多く発生します。梅雨に入る前にはうどんこ病が出やすい気候となります。ハナミズキやシラカシなど多くの樹種に発症しやすい病気で予防の為に殺菌剤の散布が必要です。バラも開花始めましたが病気だけではなく、アブラムシがつきやすいので注意が必要です。今月にはアメリカシロヒトリの一回目の発生があります。こちらは予防の為に薬剤はありませんので発生した場合は、拡がらないうちに退治します。昨年は夏の高温と少雨による衰弱が重なりマツノマダラカミキリによるマツ枯れが多く見かけました。予防の為に薬剤散布が先月に引き続き必要になります。病害虫に対してはこまめに観察して拡がらないうちに退治するようにします。そうすれば薬剤なども少なく済みます。病気の発生した落ち葉

【お知らせ】

◇記念樹交付日について◇
真夏・真冬の時期は、交付は行いません。

（次回交付日）

- ・ 9月 8日（日）
- ・ 10月 20日（日）
- ・ 11月 10日（日）
- ・ 3月 9日（日）

21世紀記念公園 麓山の杜「みどり通信 No.84」 発行日：平成25年6月4日
などは処分することにより次の発症が少なくなります。

【剪定】 針葉樹の刈込剪定は早めにすませます。刈った後から直ぐに萌芽するため切り口が目立たず綺麗に仕上がります。マツ類のみどり摘み（新芽を摘み取る作業）も早く行います。常緑樹は伸びる芽の上で切るようにします。生垣も剪定をすることにより密な形になります。開花後のツツジ類は早めに剪定をして来年の花芽を付けるようにします。シャクナゲやボタンなどは花後に実をつけないようにする為また刈込に適さないツツジ類（レンゲツツジなど）も花がらを取ることを面倒でも勧めます。紫陽花も開花後には花の下で芽のある上で切ります。落葉樹は強い剪定は控えます。しかし、ドウダンツツジは新芽が固まってきたこの時期に剪定をします。

【植え替え】 新芽が伸び柔らかいこの時期は適しません。この時期の植え替えは致命傷になる事が多くあります。樹木が水分を多く上げているこの時期に根を切られるためです。常緑樹は芽が固まる梅雨まで待ちます。鉢植えのものや春先に植え替えて根巻をしておいたものはこの時期でも大丈夫です。梅雨の時期は挿し木繁殖の適期になります。簡単に殖やせる種類もありますのでチャレンジしてはいかがでしょうか。

交付日イベント・緑化相談等予定表

次回交付日	みどり講習会	季節のワンポイント
9月 8日	記念樹の育て方初歩講座	今秋と来春開花の樹木の管理

近頃気になる病気です

5月26日（日）に公園内で生垣づくりの講習会を開きました。参加していただいた皆様、ありがとうございました。生垣に向く樹種の件で、セイヨウベニカナメが病気により適さなくなってきたという話をしました。それは「ごま色斑点病」という厄介な病気が蔓延し始めたからです。以前カナメモチにこの病気が蔓延し利用されなくなっていました。その後、この病気に対する耐性のあるセイヨウベニカナメ（レッドロビン）が品種改良され生垣として多く植栽されました。以前は生垣というとベニカナメが主流という時期がありました。それが近頃、この病気に罹病した生垣を多く見かけるようになりました。最初は葉の表と裏に褐色ないし黒褐色の病斑が発生します。やがて、病葉は落葉し樹勢は弱まり枯死してしまいます。そして、次から次へと病気が伝染し全てが枯れてしまう事もあります。殺菌剤の散布がとても必要になります。ベニカナメの生産者はこの病気が出た場合は、処分をして拡大を防いでいます。

街で見かけた樹木

ベニバナヤマボウシ（品種 紅富士）

落葉高木 ミズキ科ミズキ属

ヤマボウシと言いますと白い花を、思い浮かべるかと思いますが。ヤマボウシには多くの種類が存在します。その中には常緑ヤマボウシもあります。本種はびっしりと淡い紅色の花をつけます。この時期の赤い花は、とても目をひきますね。

